

平成26年度に田原市が行った被害の予測調査では、南海トラフで大規模地震が発生した場合、市内平野部の大部分で震度7の強い揺れとなるという予測結果が出ています。被害が最大となる想定ケースでは、死者数1571人、全壊・焼失による建物被害1万2423棟と予測されます。

残念ながらこのような大地震を避けることはできません。しかし、被害予測調査では、建物の耐震化、家具などの転倒・落下防止、迅速・適切な避難行動などにより、地震が発生した際の被害を約7割減らすことができるとされています。

地震での被害を減らすには・・・

●迅速・適切な避難行動



●建物の耐震化



●家具などの転倒・落下防止

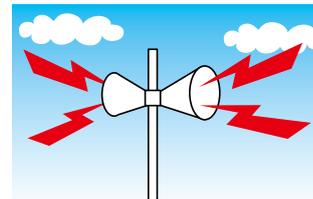


◆風水害

近年、大型化する台風や局地的なゲリラ豪雨など、風水害の発生も心配されます。

7月5日には、台風3号通過後の九州北部において発生した線状降水帯による集中豪雨により、福岡県や大分県の各地で河川のはんらんや土砂崩れが発生し、死者、行方不明者が多数出る大きな被害が発生しました。県内でも、7月14日に尾張地方を襲った集中豪雨により、大口町や江南市で河川のはんらん、小牧市や犬山市でも土砂崩れや道路の冠水などの被害が起きました。付近では、1時間に120mmの猛烈な降雨があり、気象庁から記録的短時間大雨情報が発表され、犬山市では市内全域に避難指示(緊急)が出されました。進路が予想できる台風と違って、

局地的ゲリラ豪雨などは事前の予測が難しいことが多いとされています。このため、気象情報や市からの情報を得ることに努めて、市内で避難勧告などが出された場合は、速やかに避難行動※をとることを心掛けてください。



※避難行動

災害から「命を守るための行動」です。

- 1 指定避難所などへの移動
- 2 親類や知人の家などの安全な場所への移動
- 3 近隣の高い建物などへの移動
- 4 建物内の安全な場所への退避(垂直避難)

◆自然災害に備える

自然災害から自分や家族の身を守るには、状況を把握することが大切です。市からの情報を確実に受け取るための安心安全ほっとメールの登録をお願いします。また、平常時に非常持出品の点検や中身の確認も忘れずに行いましょう。

このほか、家庭内では避難場所の確認や非常時の連絡方法などについて防災会議を開き、家族全員の防災意識を高めておくことが大切です。

私たちにできること

●正確な情報の入手
(安心安全ほっとメールの登録)



登録用QRコード
(空メールを送信)

●非常持出品の点検・確認



●家庭内での確認
(避難場所や連絡方法など)



▼防災対策課

☎ 23 33548 FAX 23 01800

✉ saigai@city.tahara.aichi.jp